

平成 28 年度 第 6 回 社会教育委員会会議録

開催日時 平成 29 年 3 月 8 日（水）午前 10 時 00 分～

開催場所 恵那市役所 西庁舎 3F 災害対策室

出席委員	委員長	近藤 慎平	
	副委員長	林 達夫	
	委員	長谷川康子	
	委員	宮地 茂嘉	
	委員	鈴木八枝子	
	委員	森川 伸江	
	委員	遠藤 茂樹	
	委員	柘植 弘成	
	委員	田口 容子	（敬称略）

説明のため出席した社会教育委員会事務局等

教育長	大畑 雅幸
まちづくり推進部長	服部 紀史
健幸まちづくり課長	梅村 浩明
生涯学習課長	伊藤 英晃
まちづくりセンター所長	熊谷 春彦
中央図書館長（代理）	瀬瀬 信吾
まちづくりセンター社会教育指導員	遠藤 滋
生涯学習課総括主査	平林 範子

議 題

1. 平成 28 年度恵那市社会教育委員会第 5 回会議録の承認
2. 平成 28 年度各課の主要事業について
3. 第 4 期家庭教育支援計画策定状況について
4. 平成 29 年度社会教育委員会の方向性について

開 会 （午前 10 時 00 分）

教育長あいさつ

- ・一年間ありがとうございました。
- ・高校の定員割れについて、プレゼンテーションの方法が重要だと思います。
- ・明知鉄道の補助による恵那南高校の進学数について。
- ・組織再編により生涯学習、文化、スポーツの業務が教育委員会の直轄になります。これによりそれぞれの事業の実施過程が把握しやすくなると考えています。

- ・平成 23 年の三学のまち宣言以後、まだまだ十分に浸透していないと思いますので、平成 29 年度は生涯学習にも力を入れていきたいと思っています。

委員長あいさつ

佐藤一斎の「一燈を提げて暗夜を行く 暗夜を憂うこと勿れ 只だ一燈を頼め」という言葉のとおり社会教育についても進めたいと思います。
本日は今年度最後の委員会になりますのでよろしくお願いします。

1 議題 1 会議録の承認

平成 28 年度恵那市社会教育委員会第 5 回会議録が承認されました。

2 議題 2 平成 28 年度各課主要事業について

各課より報告。

委員長 ご意見をお願いします。

副委員長

コミュニティの推進員さんは今後「塾長」になるということですが、組織も再編されるので、各コミュニティセンターに組織図の掲示をお願いしたいと思います。

まちづくりセンター所長

わかりました。

委 員 「子ども版画展」ですが、表彰式が終わったあと親御さんはすぐ帰られますか。

生涯学習課長

ほとんどの方が見て帰られます。

委 員 版画展は定着してきて大変いいと思います。子供たちは日頃絵を描く機会が大変多いので、折角「広重美術館」があるので、子どもの絵が展示される機会があると良いと思います。それによって家族で美術館に足を運び、小さい頃から絵画に親しむ機会が増えると思います。

生涯学習課長

市の美術館など文化センターでもそういう機会がありますが、高校生までしか応募できません。それより下の子どもさんについては展示の機会が少ないので、検討課題ではあります。規模の大きい自治体美術展に青少年の部門を設けているところもありますが、その辺りは作品数や方法に課題があるので研究したいと

思います。

委 員 有名な画家の絵を見ることもいいと思いますが、身近な人の絵を見ることは絵画に親しむきっかけになると思います。

教育長 版画展については、市内の全ての小中学校、子ども園は半分ほどが参加し応募数は3千点ほどです。

委 員 保育園から子ども園になったことによって、参加する園が増えて素晴らしいと思います。小さい頃から親しむことで関心をもつ心が育つと思います。

委 員 「広重美術館」と聞くと敷居が高いように感じますが、実際行くと版画の体験ができ、親しみを感じることができます。図書館で版画を体験し、その作品を展示したり、図書館の本で子どもたちにも親しみのある「八郎」なども挿絵に版画が使われているので、図書館に版画を使った本のコーナーを設けたりして、美術館と図書館のコラボを図書館の記念事業にできるといいと思います。

3 議題3 第4期家庭教育支援計画について

事務局 事前に計画を送付させていただきましたが、本日はみなさんから修正箇所、または活用についてご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

副委員長

本日の資料にあるこの計画の経緯が本計画にも掲載されると、家庭教育について継続して取り組んでいるということが分かるので良いと思います。

委 員 計画中の表現に対する意見
詳細については略 計画に反映

4 議題4 平成29年度社会教育委員会の方向性について

事務局 第5回委員会で、平成29年度の委員会の方向性についてお聞きしたことをまとめましたので、お手元の資料をご覧ください。

来年度の参考にしたいとおもいますので、この他にご意見があれば伺いたいと思います。

委 員 計画の中にある「命の教育」というところにもう少し力を入れたほうが良いと思います。

委 員 検証や継続をしてはじめて効果がでるので、この計画を平成 29 年度に発行するとい
うことになると、施策の実績については平成 26 年度ではなく、平成 27 年度に差し
替えた方がいいと思います。

委 員 計画を作成する側が現場を把握し、こういう場で協議をすることが望ましいと思
います。

委 員 「日本医師会」や「小児医師会」から「スマホが子どもに与える悪影響」を取り
上げていますが、家庭でしか子どもを「スマホ」から守ることができないので、
これからも継続して情報を啓発するべきだと思います。

委員長 ありがとうございます。

生涯学習課長
閉会あいさつ

午後 12 時 20 分閉会。

平成 29 年 3 月 8 日

社会教育委員 近 藤 慎 平

社会教育委員 林 達 夫